

# 天草市 河浦地域まちづくり計画 【概要版】

## 地域の概要

面積	人口	世帯数
119.34 km <sup>2</sup>	4,589 人	1,920 世帯

本地域は、新合・一町田・富津・宮野河内の4地区で構成されています。東は波静かな不知火海、西は雄大な東シナ海に接している。面積は本渡地域に次いで2番目に広く、人口は5番目、世帯数は4番目で産業面においては第3次産業への就業者が多い地域です。

2018（平成30）年7月には「天草の崎津集落」が世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産の一つとして登録されました。

また、崎津天主堂がある美しい漁村や、頭岳を望む農村、南蛮文化やキリシタンの歴史など多くの観光資源にも恵まれており、伝統行事として無形民俗文化財の「虫追い祭り」や「海を渡る祭礼」があります。



## 地域の現状及び課題

### 【現状】

本地域は、第1次産業が中心の地域であります兼業世帯が多く、事業主は65歳以上の割合が高くなっています。

さらに少子化が進み過去2回の国勢調査で5年毎に約11%以上の人口が減少しており、65歳以上が44.8%となっています。このような状況で、各地区においては以下のとおり課題があります。

### 【課題】

- 少子高齢化が顕著であるため、地区行事の参加者が減少し存続が危惧されている。
- 文化伝承者の減少。
- 高齢者の独り暮らしによる孤立への不安。
- 交流人口増加による、地区内治安確保。
- 基幹産業の後継者不足。
- 地元産の産物及び特産品加工所の確保。
- 道の駅内に物販スペースの確保。

## めざす地域の姿

### ひと・もの・自然、そして世界遺産。ぜ～んぶ活かしたまちづくり

第1期河浦地域まちづくり計画のワークショップを通じて共有化された河浦の良いところ、大切にしたいところを余すところなく活かしていきます。

また、独自の住民参加型のまちづくりを行い、地域の課題等を再確認するとともに、少子高齢化のなか地域住民と行政の協働のもと、4つの振興会を主体としてまちづくりに取り組みます。

## 具体的な行動計画

### 1 観光・文化部門

天草のキリシタン文化は世界に誇れる貴重な文化で、世界文化遺産に登録された。  
また、無形民俗文化財に指定されている一町田八幡宮の虫追い祭り、季節を知らせるアジサイや山茶花ロード、神輿が海を渡る祭礼など観光や文化などの資源がある。

#### 【地区の取り組み】

- 地域資源を活用したフットパスや体験ツーリズムの実施
- ホームページやSNSを活用した地域イベント情報の発信と魅力ある地域づくり
- 学生ボランティアガイドの支援
- 文化財や伝統芸能の観光資源を活かす取り組み

### 2 地域振興・教育部門

北海道浦河町との友好交流で人的及び物産交流を行っており、交流人口も増加している。町内全体のスポーツ行事として区対抗ミニバレーボール大会や町民球技大会(11種目)を行っている。

また、公民館と連携した講演会を実施し、住民の生涯学習活動を推進している。

#### 【地区の取り組み】

- 各種行事の内容を検討し、住民が楽しんで参加できる事業の推進
- 北海道浦河町との人的及び文化交流の促進
- 公民館事業と連携した体験型の講座や生涯学習につながる講座の開講
- 地区連携による校外子ども体験学習の継続実施
- 世界文化遺産を活用した地域づくりの推進
- 少子化対策における子育て支援の継続

### 3 生活環境・防犯防災部門

地区内の自然環境や漁村・農村の景観保全活動・清掃を住民が主体となって行っており、また、住民の防災に対する意識が高く、振興会単位及び区単位で防災訓練を行っている。

#### 【地区の取り組み】

- 一人暮らし世帯を含めた高齢者への定期的な声掛け・支援活動
- 地区内の自然環境や漁村・農村風景などの景観保全活動の推進と清掃活動
- 道路愛護作業、花いっぱい運動の継続
- 市、振興会、区を中心とした防災訓練の実施を行うとともに避難所・避難路の点検整備
- 区を中心とした活動しやすい防災組織づくり

### 4 産業・経済部門

崎津集落が世界文化遺産の構成資産となったことにより、地域の交流人口が増え地域が活性化している。

#### 【地区の取り組み】

- 魅力ある特産品の発掘・開発や加工品の販売及び加工所の確保
- ふるさと宅配便の継続と販路拡大
- 道の駅内に物販のスペース確保
- 地域の基幹産業を守るための後継者育成に取り組む